

取付方法 つづき

2 | 2

■引きひもタイプ④の場合

1. 壁穴より50mm以上かつコードの届く範囲にコンセントを設置する。

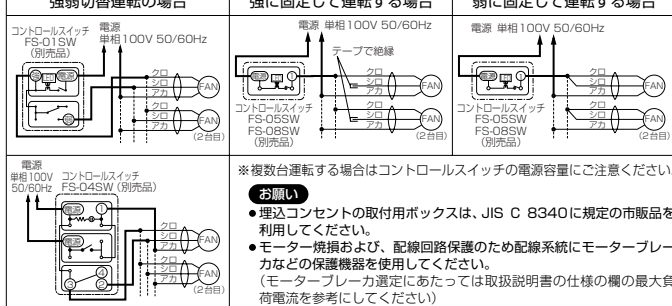
■メッシュタイプ給気形③・厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥の場合

1. 結線をする。(本体取付け後行います)

(1) 単相 100V に接続する。

〈結線図〉

※太線部分の結線を行ってください。

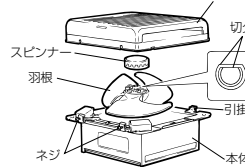


※複数台運転する場合はコントロールスイッチの電源容量にご注意ください。

お願い

- 埋込コンセントの取付用ボックスは、JIS C 8340に規定の市販品を利用してください。
- モーター焼損および、配線回路保護のため配線系統にモーターブレーカなどの保護機器を使用してください。(モーターブレーカ選定にあたっては取扱説明書の仕様の欄の最大負荷電流を参考にしてください)
- アースおよび漏電ブレーカを確実に取付けてください。故障や漏電のときに感電する原因になります。

※図は格子タイプを示します。



3 本体の取付け

■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥を除く(①②③④⑦タイプの場合)

1. パネル・スピナー・羽根をはずす。

- (1) パネルは下側にあるネジ(2本)をゆるめ、左右を持って上部の引掛部よりはずす。
- (2) スピナーは羽根を軽く持って「ユルム」の方向に回してはずす。羽根は切欠部を合わせて手前引いてはずす。

引きひも位置の変更(引きひもタイプ④のみ)

(引きひもを位置を本体の左右どちらにも付け換えることができます…工場出荷時は左側)

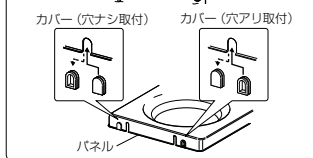
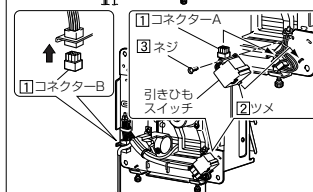
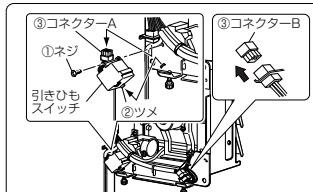
①引きひもスイッチを固定しているネジ1本をはずす。

②ツメをはずす。

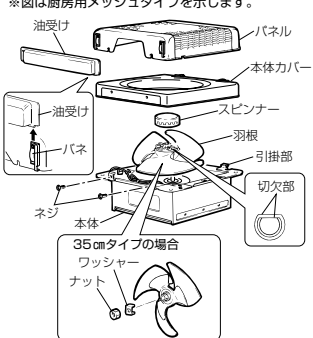
③左右のコネクターA、Bをはずす。(引きひもスイッチの反対側にはキャップが付いています)

④引きひもスイッチの位置を取換え、①左右コネクターA、Bを差し込み、②ツメを入れ、③ネジ1本で固定する。

⑤パネルの引きひも出口カバーを入れかえる。



※図は厨房用メッシュタイプを示します。



■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥の場合

1. 油受け・パネル・スピナー(35cmはナット・ワッシャー)・羽根をはずす。

- (1) 油受けは、上にスライドさせてはずす。
- (2) パネルは下側にあるネジ(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。
- (3) 羽根をはずす。
 - 25・30cmタイプの場合は、羽根を軽く持って、スピナーを「ユルム」の方向に回してはずす。
 - 35cmタイプの場合は、羽根を持ってナット・ワッシャーをはずす。羽根は手前に引いてはずす。
- (4) 本体カバーの左右を持って上部の引掛部よりはずす。

■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥を除く(①②③④⑦タイプの場合)

2. 本体を取付ける。

- (1) 屋内配線を本体上部の切欠部から本体内部に引き込む。(耐湿形格子タイプ・引きひもタイプ・メッシュタイプ給気形を除く)
- (2) 本体の取付穴(4か所)にボルトを通し、市販のパネ座金・ナットで確実に固定する。
- (3) 結線をします。(電気工事(裏面の結線図)を参照してください)

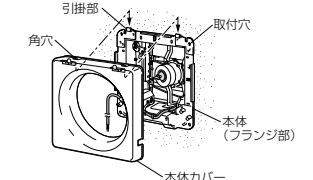
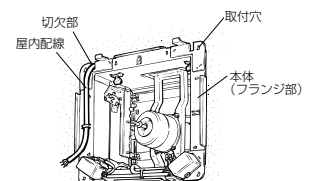
■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥の場合

2. 本体・本体カバーを取付ける。

- (1) 本体のフランジ部(4か所)にボルトを通し、市販のパネ座金・ナットで確実に固定する。
- (2) 本体カバーの角穴を本体上部の引掛部に差し込む。

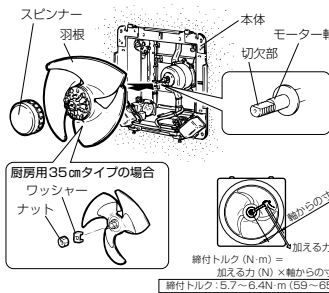
お願い

- 本体のフランジ部と壁の間にすき間がないようにしてください。
- システム部材の本枠・不燃枠・取付枠・絶縁枠に取付ける場合は、本体上下の4か所の取付穴を利用し確実に固定してください。



3 | 1

3 | 3



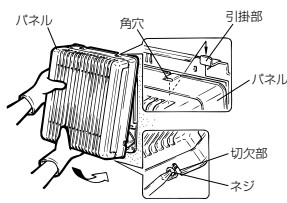
■全タイプ共通

3. 羽根・スピナー(厨房用35cmはナット・ワッシャー)を取付ける。

- 20~30cmタイプの場合
 - (1) 羽根とモーター軸の切欠部(C)を合わせて羽根をモーター軸に差し込む。
 - (2) 羽根を持ってスピナーを「ユルム」の反対方向に回し羽根に当たるまで締め付ける。
- 厨房用35cmタイプの場合
 - (1) 羽根とモーター軸の切欠部(C)を合わせて羽根をモーター軸に差し込む。
 - (2) ワッシャーを通し、ナットを締付トルクで確実に締め付ける。

締付トルク(N・m) = 加える力(N) × 軸からの寸法(m)
 締付トルク: 5.7~6.4N・m (59~65kgf・cm)

※図は格子タイプを示します。



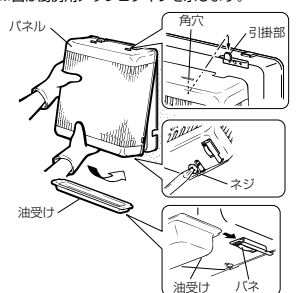
■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥を除く(①②③④⑦タイプの場合)

4. パネルを取付ける。

- (1) パネルの角穴を本体上部の引掛部に差し込む。
- (2) 下側の切欠部を本体のネジ(2か所)にめ込みネジを締め付ける。

3 | 4

※図は厨房用メッシュタイプを示します。



■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥の場合

4. パネル・油受けを取付ける。

- (1) パネルの角穴を本体カバー上部の引掛部に差し込む。
- (2) パネル、本体カバーの穴を本体穴と合わせ、ネジ(2か所)を締め付ける。
- (3) 油受けを図のようにスライドさせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。

お願い

- パネルがネジで確実に取付けられているか確認してください。確実に取付けられていないとパネルが落下するおそれがあります。

■露出配線工事の場合

〈メッシュタイプ給気形③、引きひもタイプ④、厨房用メッシュタイプ⑤、フィルター付タイプ⑥、耐湿形格子タイプ⑦を除く〉
 (①②③④メッシュタイプ排気形⑧タイプの場合)

■露出配線はパネル側面の左または右から取ります。

- (1) 取出す位置のノックアウトを打ち抜く。(20cmタイプのみ)
- (2) 左図のように結線する。
- (3) 露出配線の傷つきが生じないように市販の絶縁テープを電源コード出口部分(打ち抜いた部分)の露出配線に巻き付ける。

お願い

- 露出配線が引っ張られたとき速結端子に張力が加わらないよう市販のコードクリップで露出配線を止めてください。

■付属のコード付プラグを使用する場合

〈標準タイプ①、格子タイプ②、メッシュタイプ(排気形)⑧〉

■コード付プラグはパネル側面の左または右から取ります。

- (1) 取出す位置のノックアウトを打ち抜く。(20cmタイプのみ)
- (2) 付属のコード付プラグを速結端子上部のネジを使用してコードクリップで固定する。
 - コード付プラグのチューブはコードクリップ・電源コード出口(打ち抜いた部分)の位置にくるように止める。
- (3) 付属のコード付プラグを端子ボックスの表示を参照して確実に結線する。
 - 「弱」運転にする場合は、強と弱を短絡させる。

■メッシュタイプ給気形の場合

〈メッシュタイプ給気形③〉

市販の埋込スイッチまたは、別売品(システム部材)のコントロールスイッチを使用する。

■厨房用メッシュタイプ・フィルター付タイプの場合

〈⑥⑧〉

市販の埋込スイッチまたは、別売品(システム部材)のコントロールスイッチを使用する。

■耐湿形格子タイプの場合

〈⑦〉

市販の埋込スイッチまたは、別売品(システム部材)のコントロールスイッチを使用する。

■試運転

取付工事後、正常に運転できるか確認

1. 本体、パネル、羽根、メッシュガードが確実に取付けてありますか。
2. 電源コードに傷・いたみはありませんか。
3. 正しくアース工事がしてありますか。
4. 異常な振動や騒音がありませんか。